

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 1 日

事務事業名		交通安全施設整備事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	030302000352	
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	060101 建設課	
政策体系	総合計画の施策名	0303		交通安全対策の推進				課長名		
	政策名	03		安全安心な暮らしのまちづくり				グループ	建設グループ	
	施策名	03		交通安全対策の推進				担当者名		
	手段名	02		②交通安全施設などの整備						
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	08	02	02	01	00	道路維持事業			
法令根拠	交通安全施設整備事業の推進に関する法律						単年度繰返し (年度~)			
	【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

手段	(1) 事務事業の概要	
	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 桜川市民が安心して安全に過ごせる地域の交通事故防止・交通安全の確保のため、道路管理者としてガードレール、道路標識、道路反射鏡、視線誘導標等、交通安全施設の新設・補修を行う。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 市民からの要望、区長申請や担当による危険回避のための交通安全施設の設置、補修、点検を行う交通安全施設の要望、必要箇所の点検 → 現地調査 → 設計 → 発注 → 監督 → 完成検査

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移											
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)				
			要望件数	件	53.00	47.00	35.00		35.00	0.00	
			現場調査件数	件	53.00	47.00	40.00		40.00	0.00	
			安全施設設置箇所	箇所	39.00	35.00	40.00		40.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)			⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位		05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
交通事故が多い場所や見通しの悪い道路を通行する市民			人口		人		36,794.00	36,120.00	35,356.00	34,734.00	34,112.00
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)			⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		単位		05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
人、自転車、車など通行者に注意を喚起し、スムーズに通行できる交通環境を整え、交通事故の防止、抑制を図る。			安全施設整備箇所/要望件数		%		74.00	100.00	100.00	100.00	100.00
							100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	7,500	4,500	3,500	
	事業費計 (A)	千円	7,500	4,500	3,500		
	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人		

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
	14 工事請負費	4,500		14 工事請負費	3,500	
	合計	4,500		合計	3,500	

(4) 当該年度の実施内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	桜川市民が安心して安全に過ごせる地域の交通事故防止・交通安全の確保のため、道路管理者としてガードレール、道路標識、道路反射鏡、視線誘導標等、交通安全施設の新設・補修を行う。	桜川市民が安心して安全に過ごせる地域の交通事故防止・交通安全の確保のため、道路管理者としてガードレール、道路標識、道路反射鏡、視線誘導標等、交通安全施設の新設・補修を行う。	桜川市民が安心して安全に過ごせる地域の交通事故防止・交通安全の確保のため、道路管理者としてガードレール、道路標識、道路反射鏡、視線誘導標等、交通安全施設の新設・補修を行う。

事務事業名	交通安全施設整備事業	事務事業No.	30302000352	所属課	建設課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 戦後、我が国の本格的な自動車交通の夜明けと共に、道路行政も交通安全施設の充実が求められるようになった。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 申請から施工までの時間短縮をして欲しい。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 道路の危険箇所を改善することは、交通事故減少に直結するため結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市は市道の道路管理者であることから、妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 交通安全施設は交通安全に欠かせないものであるため、向上の余地はない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 道路の安全確保を怠ることになる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がないため
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 安全で安心のまちづくりのために、道路の安全確保が必要となるため削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 道路の安全確保は公平・平等である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	平成24年度市内小中学校通学路緊急合同点検を実施したことに伴い、平成26年度、桜川市通学路安全推進会議を設置し、市内通学路の安全を図るため桜川市通学路安全プログラムを策定した。桜川市通学路安全推進会議で要望されるものに対し現地調査等を行い、緊急性・危険箇所から随時対応等を検討・実施し、通学路の安全性の向上を推進させている。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (<input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>